

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者会 各位

見て、触れて、香りで親しむ“蓮”

— 三溪園 早朝観蓮会

三溪園早朝観蓮会は、見て、触れて、香りを楽しんで…と、さまざまな面から“蓮”に親しめる催しです。

茎からの糸採りや葉っぱを使ったお面作り、蓮の葉のシャワーなどの例年の企画とともに、今年は初めて“象鼻杯(ぞうびはい)”が登場。葉の部分にためた茶や酒をその下の茎をとおして飲むという風流なものです。

また、園内の茶店 3 店では、早朝観蓮会開催時限定の特別メニューも。各店こだわりの朝食も楽しめます。

■開催日時 2013 年 7 月 13 日(土)～8 月 11 日(日)の土・日曜日および祝日
朝 6:00 から



■会場 三溪園 外苑 蓮池周辺

■料金 入園料で観覧できます。

■三溪園の蓮について

三溪こだわりの花

蓮は古くより、泥の中から清らかな花を咲かせることから俗世間から現れた優れた人材にたとえられ、三溪園の創設者 原三溪がとりわけ好んだ花です。自らが構想し生涯愛用した茶室を蓮華院と名づけ、また蓮を題材にした絵も数多く残していることから、その思い入れぶりがうかがえます。

最期を飾った花

三溪が、その生涯を閉じたのは昭和 14 年8月、奇しくも蓮の花の盛りのころでした。柩は生前精魂を傾けて移築にあたった臨春閣に安置され、その傍らを飾ったのは園内の池から切り取られた数本の蓮だったといわれています。

■関連企画

蓮の茎からの糸採り

茎を折って引っばると、中から細い蓮の繊維が採り出せます。今ではあまり見られなくなりましたが、古くはこの繊維を使って織物も作られました。奈良の当麻寺(たいまでら)にある曼荼羅には、その昔中将姫という人物がこの蓮の糸を使って織り上げたという伝説が残されています。

葉を使ったお面作り

蓮の葉に目や口などの穴を開けて、楽しいお面を作ります。いずれも朝 6 時から、材料がなくなり次第終了となります。

蓮の葉のシャワー

茎の根元から入った水が、葉脈の先端から放射状に噴き出す、珍しい光景が楽しめます。

《初企画》象鼻杯(ぞうびはい)

蓮の葉に注いだ茶や酒をその下の茎の先からストローのように吸って飲み、その風味や風情を楽しむものです。碧筒杯(へきとうはい)ともいわれます。

象鼻杯のみ、開催日時が限られます。また、参加料が必要です。

日時:8月 10日(土)・11日(日) 10:30-11:30(所要約 10分)

定員:茶・酒、各 100名

料金:¥100 ※入園料は別途必要です。

■蓮の種のプレゼント

毎朝 8:30 から抽選で 20 名様にプレゼント。発芽のさせ方の説明書もついています。



■早朝観蓮会限定メニュー

蓮の観賞後は、風情を楽しみながらの朝食はいかが？ 各茶店こだわりの限定メニューを紹介します。

●雁ヶ音茶屋(かりがねぢや)

限定メニュー： おにぎりセット ¥800 (おにぎり2種・味噌汁・筑前煮)
中華風がゆ ¥600 (ホタテ貝柱・シイタケ・鶏肉入り)

提供時間： 朝 6:00～9:00

●三溪園茶寮(さんけいえんさりょう)

限定メニュー： 朝がゆ ¥1,000
(おかゆ・温泉卵・紀州梅干・赤出汁・水ようかんなど)

提供時間： 朝 6:00～9:00

●待春軒(たいしゅんけん)

限定メニュー： 麦とろ御飯 ¥1000
(大和芋とろろ・ハスキんぴら・味噌汁など)

提供時間： 朝 6:30～9:30



施設案内

《所在地》三溪園 横浜市中区本牧三之谷 58-1

《交通アクセス》

- JR 根岸線根岸駅から市営バス 58・99・101 系統で 10 分、「本牧」バス停下車、徒歩 7 分
- 横浜駅東口から市営バス 8・148 系統で 35 分、「本牧三溪園前」下車、徒歩 3 分
- 桜木町駅から市営バス 8・148 系統で 25 分、「本牧三溪園前」下車、徒歩 3 分
- みなとみらい線元町中華街駅 4 番出口から市営バス(「山下町・タワー入口」) 8・148 系統で 15 分、「本牧三溪園前」下車、徒歩 3 分

お問合せ：

三溪園(公益財団法人 三溪園保勝会)
事業課 羽田、吉川、中島
TEL045-621-0635 / FAX045-621-6343